

兵庫県の人口の動き

令和5年1月～12月



令和6年3月

兵庫県企画部統計課

この報告書は、「市町別毎月人口推計調査」をもとに令和5年中の兵庫県内の人口の動きをまとめたものです。

＜＜利用上の注意＞＞

- 1 「推計人口」は国勢調査人口を基に算出しているため、当該年の人口移動数を加減しても次年の人口に一致しない年があります。

また、平成24年7月までは、住民基本台帳法及び外国人登録法に基づく当該月間の移動数を集計していましたが、「住民基本台帳法の一部を改正する法律」の施行及び「外国人登録法」の廃止（平成24年7月）により、外国人にも住民基本台帳法が適用されることとなったことから、平成24年8月からは、住民基本台帳法に基づく移動数で集計しています。

- 2 平成11年及び12年の人口は「推定人口」です。

「推計人口」・・・国勢調査を基礎に、住民基本台帳の移動数を加減した人口

「推定人口」・・・平成10年10月1日実施の「被災地人口実態調査」の結果数値を基礎に、住民基本台帳と外国人登録の移動数を加減した人口

※ 「被災地人口実態調査」：平成10年10月1日に実施した総務庁「住宅・土地統計調査」の調査票から被災地10市10町の世帯人員を転記集計し、実態人口の把握を行ったもの

- 3 地域区分

神戸地域	神戸市
阪神南地域	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北地域	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨地域	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨地域	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨地域	姫路市、市川町、福崎町、神河町
西播磨地域	相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、太子町、上郡町、佐用町
但馬地域	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波地域	丹波篠山市、丹波市
淡路地域	洲本市、南あわじ市、淡路市

- 4 令和2年国勢調査結果の公表に伴い、平成27年及び令和2年国勢調査結果を基に過去公表数値の遡及改訂を行いました。

なお、推計人口は、直近の国勢調査結果を基礎として、毎月1日現在の人口を算出していますが、平成27年国勢調査結果に基づく令和2年10月1日現在の推計人口と令和2年国勢調査結果の人口とは必ずしも一致しないため、平成27年国勢調査と令和2年国勢調査の結果を基に、その間の各月の人口について補間補正を行いました（補間補正は、平成27年国勢調査結果公表後にも行っています。）。

〔補間補正の方法〕

- (1) 算出方法

当該月の補間補正人口＝前月の補間補正人口＋前月の移動人口＋補間補正数

国勢調査の翌月は国勢調査の確定人口を基準人口とし、国勢調査の翌々月以降は前月1日現在人口を基準人口としています。

(2) 補間補正数の算出方法

$$\{ (\text{令和2年国勢調査結果}) - (\text{令和2年10月1日現在推計人口}) \} \div 5$$

=各年の補間補正数

各年の補間補正数※ \div 12=各月の補間補正数※

※ 各年の補間補正数の算出において生じた端数は、遡及の当初年間（平成27年11月～平成28年10月）の補間補正数に加減して調整しました。また、各月の補間補正数の算出において生じた端数は、毎年11月以降1ずつ加減して調整しました。

(3) 区分ごとの補間補正数について

県計…市町の合計

市部・郡部・地域…該当市町の合計

神戸市…市内9区の合計

※上記のとおり算出しているため、それぞれの数値を(2)のとおり算出しても公表数値とは一致しません。

<<目 次>>

1	人口の推移（平成26年～令和5年）	1
2	地域別人口（令和5年）	2
3	市区町別人口（令和5年）	3
4	月別人口（令和3年～5年）	6
	参考 国勢調査結果を踏まえた人口推移	7
統計表		
第1表	年次別自然・社会増減表（県）	8
第2表	市区町別自然・社会増減数及び増減率（令和5年）	10
第3表	市区町別自然・社会増減表（令和5年1月～12月）	11
第4表	地域別人口の増減数及び増減率（平成31・元年～令和5年）	14
第5表	市区町別人口の増減数及び増減率（平成31・元年～令和5年）	15

1 人口の推移(平成26年～令和5年)

令和6年1月1日現在の兵庫県推計人口は536万4,074人である。

令和5年の人口は、前年から32,972人(0.61%)の減少となった。内訳は自然増減(出生-死亡)で33,864人減少、社会増減(転入等-転出等)で892人増加した。

過去10年間(平成26年～令和5年)の自然増減は減少が続き、令和5年の出生数は33,291人、死亡数は67,155人で、死亡数が出生数を上回り、その差の拡大が続いている。(表1、図1・2参照)

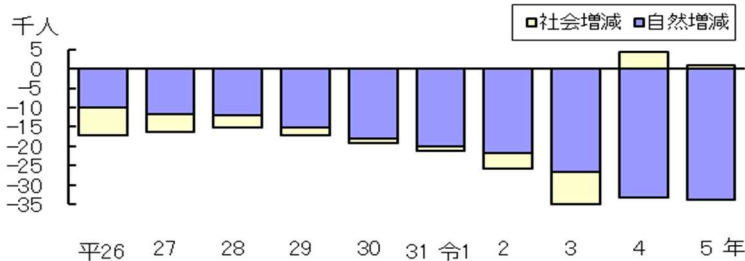
過去10年間の社会増減は転出超過が続いていたが、令和4年から2年連続の転入超過となった。令和5年の転入等数は217,361人、転出等数は216,469人となり、転入等数、転出等数は令和4年には増加したが、令和5年には減少した。(表1、図1・3参照)

表1 人口増減の推移

区分	推計人口 (1月1日)	増減数								増減率		
		純増減 (自然+社会 +補間補正数)		自然増減	社会増減		人口 増減	自然 増減	社会 増減			
		出生	死亡		転入等	転出等						
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%
平成26年	5,562,545	△ 14,935	2,258	△ 10,008	44,817	54,825	△ 7,185	215,667	222,852	△ 0.27	△ 0.18	△ 0.13
27年	5,547,610	△ 13,328	2,999	△ 11,680	44,706	56,386	△ 4,647	221,282	225,929	△ 0.24	△ 0.21	△ 0.08
28年	5,534,282	△ 10,032	5,243	△ 12,122	44,132	56,254	△ 3,153	217,747	220,900	△ 0.18	△ 0.22	△ 0.06
29年	5,524,250	△ 11,858	5,220	△ 15,053	42,198	57,251	△ 2,025	221,208	223,233	△ 0.21	△ 0.27	△ 0.04
30年	5,512,392	△ 13,887	5,220	△ 17,921	40,303	58,224	△ 1,186	220,651	221,837	△ 0.25	△ 0.33	△ 0.02
31年	5,498,505	△ 15,811	5,220	△ 20,013	38,658	58,671	△ 1,018	222,418	223,436	△ 0.29	△ 0.36	△ 0.02
令和2年	5,482,694	△ 21,938	3,895	△ 21,720	37,653	59,373	△ 4,113	210,280	214,393	△ 0.40	△ 0.40	△ 0.08
3年	5,460,756	△ 34,914	—	△ 26,725	36,210	62,935	△ 8,189	202,209	210,398	△ 0.64	△ 0.49	△ 0.15
4年	5,425,842	△ 28,796	—	△ 33,052	34,183	67,235	4,256	221,969	217,713	△ 0.53	△ 0.61	0.08
5年	5,397,046	△ 32,972	—	△ 33,864	33,291	67,155	892	217,361	216,469	△ 0.61	△ 0.63	0.02
6年	5,364,074											
5年間(31-5年)計		△ 134,431	9,115	△ 135,374	179,995	315,369	△ 8,172	1,074,237	1,082,409	△ 2.44	△ 2.46	△ 0.15
5年間(31-5年)平均		△ 26,886		△ 27,075	35,999	63,074	△ 1,634	214,847	216,482			

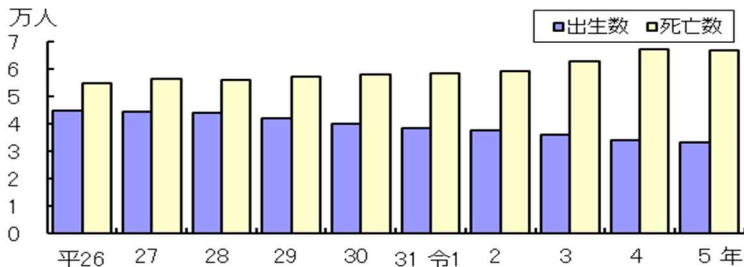
- 注1 転入等及び転出等には国籍異動等を含む。
- 注2 増減率は各年の1月1日現在の人口を基礎に算出している。
- 注3 補間補正数は、平成27年及び令和2年国勢調査結果による人口差修正値。

図1 社会増減・自然増減の推移



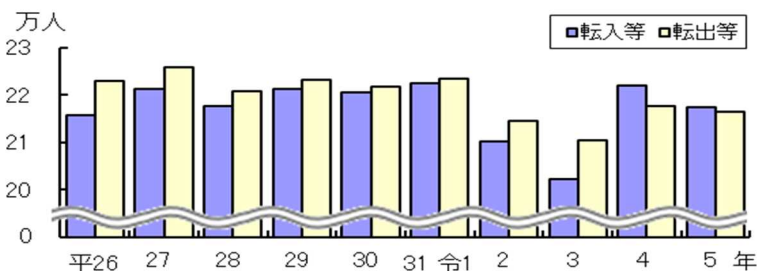
自然増減は減少が続く一方、社会増減は令和4年に続き、社会増となった。

図2 出生・死亡数の推移



死亡数が出生数を上回り、その差の拡大が続いている。

図3 転入等数・転出等数の推移



転入等数、転出等数は、令和4年には増加したが、令和5年には減少した。

2 地域別人口(令和5年)

令和6年1月1日現在の地域別人口構成比は、神戸(27.9%)が最も高く、以下、阪神南(19.2%)、東播磨(13.3%)、阪神北(13.1%)と続いている。また、地域別人口の推移を見ると、神戸と阪神南で全体の約5割(47.2%)を占めている。(図4・5、表2参照)

令和5年中の地域別人口の増減率は、全ての地域で減少した。減少率が最も小さいのは東播磨(Δ 0.08%)で、最も大きいのは但馬(Δ 1.83%)であった。(表2、図6参照)

図4 地域別人口構成比(令和6年1月1日現在)

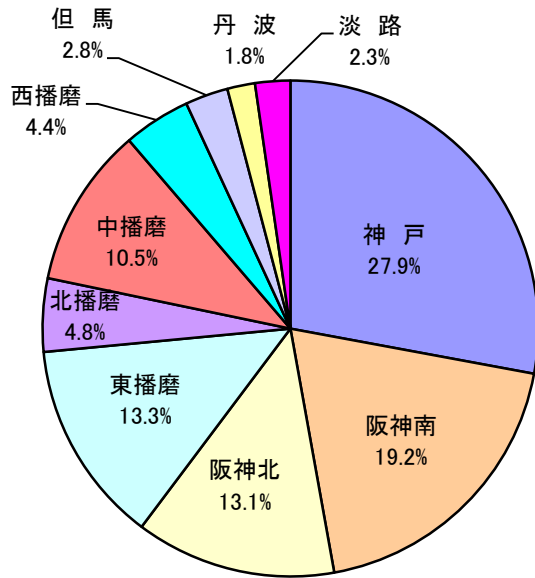


図5 国勢調査による地域別人口の推移(昭和45年~令和2年)

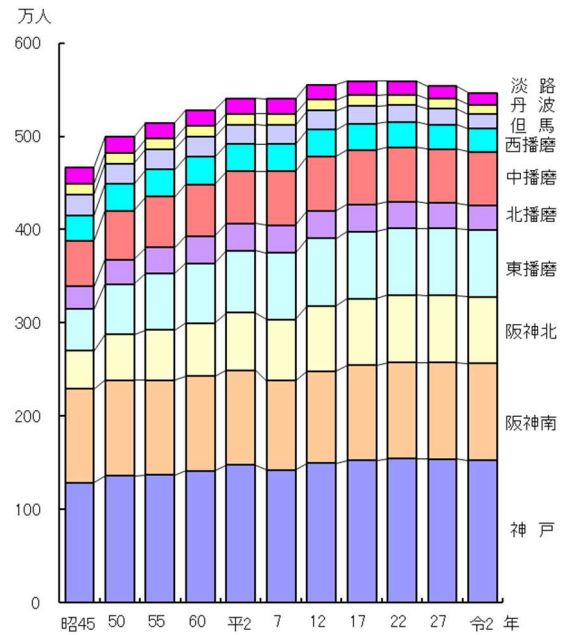
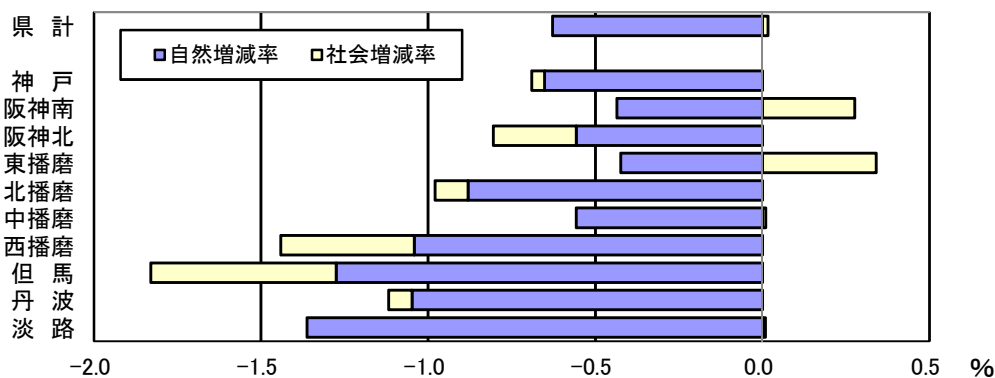


表2 地域別人口(構成比、増減数、増減率)

区分	令和5.1.1		構成比	純増減	増減数(令和5年中)						増減率(令和5年中)			
	推計人口	推計人口			自然増減	出生	死亡	社会増減	転入等	転出等	純増減	自然増減	社会増減	
	人	人	%	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%
県計	5,397,046	5,364,074	100.0	Δ 32,972	Δ 33,864	33,291	67,155	892	217,361	216,469	Δ 0.61	Δ 0.63	0.02	
神戸	1,508,208	1,497,802	27.9	Δ 10,406	Δ 9,832	8,818	18,650	Δ 574	76,056	76,630	Δ 0.69	Δ 0.65	Δ 0.04	
阪神南	1,033,424	1,031,776	19.2	Δ 1,648	Δ 4,500	7,161	11,661	2,852	45,639	42,787	Δ 0.16	Δ 0.44	0.28	
阪神北	707,241	701,547	13.1	Δ 5,694	Δ 3,941	3,996	7,937	Δ 1,753	25,243	26,996	Δ 0.81	Δ 0.56	Δ 0.25	
東播磨	711,985	711,388	13.3	Δ 597	Δ 3,019	5,224	8,243	2,422	25,754	23,332	Δ 0.08	Δ 0.42	0.34	
北播磨	257,612	255,089	4.8	Δ 2,523	Δ 2,269	1,357	3,626	Δ 254	9,725	9,979	Δ 0.98	Δ 0.88	Δ 0.10	
中播磨	564,203	561,116	10.5	Δ 3,087	Δ 3,143	3,755	6,898	56	16,867	16,811	Δ 0.55	Δ 0.56	0.01	
西播磨	239,539	236,088	4.4	Δ 3,451	Δ 2,495	1,168	3,663	Δ 956	6,323	7,279	Δ 1.44	Δ 1.04	Δ 0.40	
但馬	152,059	149,277	2.8	Δ 2,782	Δ 1,939	722	2,661	Δ 843	3,787	4,630	Δ 1.83	Δ 1.28	Δ 0.55	
丹波	98,475	97,374	1.8	Δ 1,101	Δ 1,032	528	1,560	Δ 69	3,152	3,221	Δ 1.12	Δ 1.05	Δ 0.07	
淡路	124,300	122,617	2.3	Δ 1,683	Δ 1,694	562	2,256	11	4,815	4,804	Δ 1.35	Δ 1.36	0.01	

図6 地域別人口増減率(自然増減率・社会増減率)(令和5年中)



3 市区町別人口(令和5年)

令和6年1月1日現在の市町別人口(41市町)は、多い順に①神戸市1,497,802人、②姫路市521,799人、③西宮市483,929人と続いている。人口が少ない順に①神河町9,873人、②市川町10,390人、③新温泉町12,384人となっている。(図7、10頁第2表参照)

市区町別人口(49市区町)では、この一年間で人口が増加したのは3市区町(神戸市中央区864人、明石市1,356人、播磨町105人)である。人口が減少したのは46市区町で、減少数が大きい順に①姫路市△2,575人、②神戸市西区△2,566人、③神戸市垂水区△2,266人となった。(10頁第2表参照)

令和5年中の増減は、増加率が大きい順に①神戸市中央区(0.58%)、②明石市(0.45%)、③播磨町(0.31%)と続き、減少率が大きい順に①多可町(△2.69%)、②神河町(△2.66%)、③新温泉町(△2.53%)となった。

理由別では、自然増減の減少率が小さい順に①明石市(△0.18%)、②西宮市(△0.27%)、③神戸市中央区(△0.30%)と続き、減少率が大きい順に①多可町(△1.76%)、②香美町(△1.69%)、③新温泉町(△1.65%)となった。社会増減は増加率が大きい順に①神戸市中央区(0.89%)、②神戸市兵庫区(0.71%)、③播磨町(0.71%)と続き、減少率が大きい順に①神河町(△1.35%)、②多可町(△0.93%)、③新温泉町(△0.88%)となった。(表3参照)

図7 市区町別人口(令和6年1月1日現在)

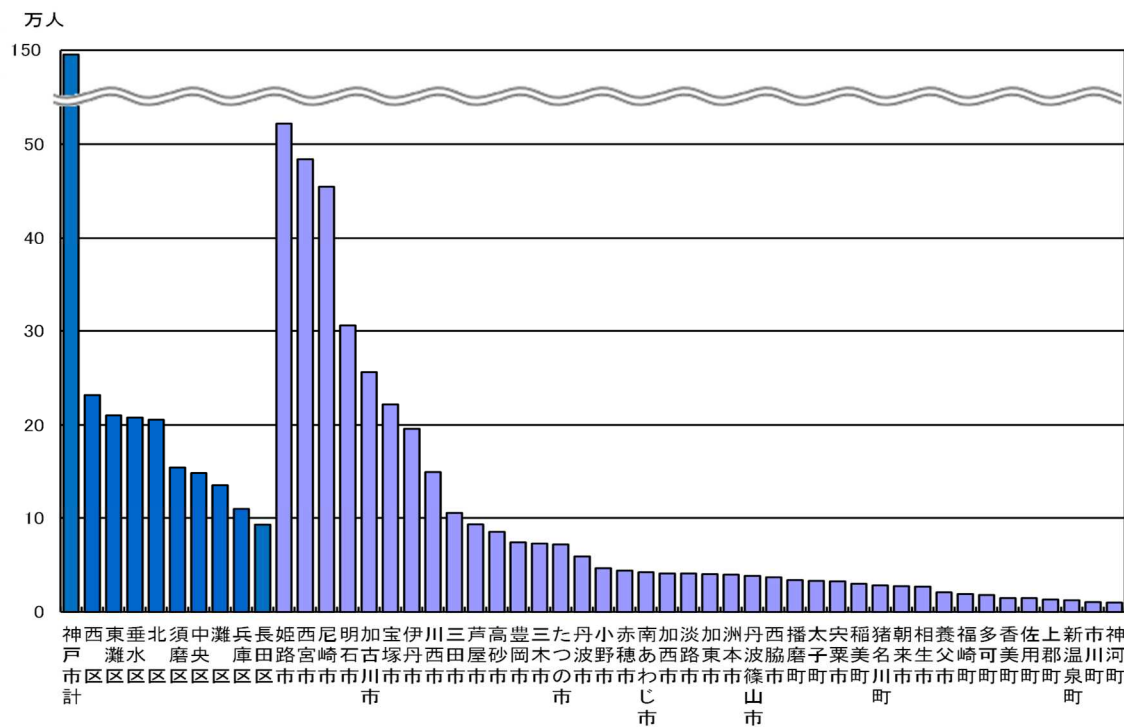


表3 人口増減率の高い市区町(令和4年、令和5年)

順位	令和4年						令和5年						
	純増減		自然増減		社会増減		純増減		自然増減		社会増減		
	市区町名	率(%)	市区町名	率(%)	市区町名	率(%)	市区町名	率(%)	市区町名	率(%)	市区町名	率(%)	
高 ↓	1	兵庫区	0.82	明石市	△ 0.24	兵庫区	1.67	中央区	0.58	明石市	△ 0.18	中央区	0.89
	2	中央区	0.50	東灘区	△ 0.26	長田区	0.82	明石市	0.45	西宮市	△ 0.27	兵庫区	0.71
	3	明石市	0.18	中央区	△ 0.28	中央区	0.78	播磨町	0.31	中央区	△ 0.30	播磨町	0.71
	4	播磨町	0.05	西宮市	△ 0.28	淡路市	0.75	西宮市	△ 0.04	東灘区	△ 0.34	明石市	0.63
	5	灘区	△ 0.01	伊丹市	△ 0.36	芦屋市	0.56	兵庫区	△ 0.07	伊丹市	△ 0.38	福崎町	0.55
低 ↑	45	宍粟市	△ 2.06	上郡町	△ 1.47	神河町	△ 0.66	養父市	△ 2.26	淡路市	△ 1.48	猪名川町	△ 0.79
	46	神河町	△ 2.15	神河町	△ 1.50	三田市	△ 0.70	香美町	△ 2.41	佐用町	△ 1.58	養父市	△ 0.83
	47	佐用町	△ 2.41	新温泉町	△ 1.60	宍粟市	△ 0.79	新温泉町	△ 2.53	新温泉町	△ 1.65	新温泉町	△ 0.88
	48	香美町	△ 2.76	香美町	△ 1.83	香美町	△ 0.94	神河町	△ 2.66	香美町	△ 1.69	多可町	△ 0.93
	49	市川町	△ 2.81	佐用町	△ 1.99	市川町	△ 1.35	多可町	△ 2.69	多可町	△ 1.76	神河町	△ 1.35

图8 市町別人口(令和6年1月1日現在)



图9 市区町別人口増減率(令和5年)



4 月別人口(令和3年～5年)

令和5年の月別人口増減数は、4月に増加し、他の月は減少している。

自然増減は全ての月で減少し、社会増減は3月に大きく減少し4月に増加する傾向がある。(表4、
図10・11・12参照)

表4 月別人口の増減数

区分	令和3年			令和4年			令和5年		
	純増減	自然増減	社会増減	純増減	自然増減	社会増減	純増減	自然増減	社会増減
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
1月	△ 4,077	△ 3,771	△ 306	△ 4,567	△ 3,288	△ 1,279	△ 5,379	△ 4,787	△ 592
2月	△ 3,287	△ 2,652	△ 635	△ 4,912	△ 3,509	△ 1,403	△ 4,564	△ 3,546	△ 1,018
3月	△ 8,488	△ 2,520	△ 5,968	△ 9,537	△ 3,698	△ 5,839	△ 8,698	△ 3,137	△ 5,561
4月	870	△ 2,256	3,126	2,808	△ 2,590	5,398	1,817	△ 2,525	4,342
5月	△ 3,497	△ 2,639	△ 858	1,289	△ 2,359	3,648	△ 1,430	△ 2,483	1,053
6月	△ 2,753	△ 1,678	△ 1,075	△ 86	△ 1,949	1,863	△ 2,025	△ 2,023	△ 2
7月	△ 2,420	△ 1,434	△ 986	△ 1,600	△ 1,992	392	△ 1,563	△ 1,838	275
8月	△ 1,551	△ 1,681	130	△ 2,414	△ 2,751	337	△ 2,784	△ 2,717	△ 67
9月	△ 2,980	△ 1,579	△ 1,401	△ 3,004	△ 2,506	△ 498	△ 2,586	△ 2,382	△ 204
10月	△ 2,022	△ 1,799	△ 223	△ 1,179	△ 2,335	1,156	△ 836	△ 2,729	1,893
11月	△ 1,862	△ 2,078	216	△ 2,222	△ 2,663	441	△ 2,088	△ 2,695	607
12月	△ 2,847	△ 2,638	△ 209	△ 3,372	△ 3,412	40	△ 2,836	△ 3,002	166

図10 推計人口(毎月1日現在)の推移

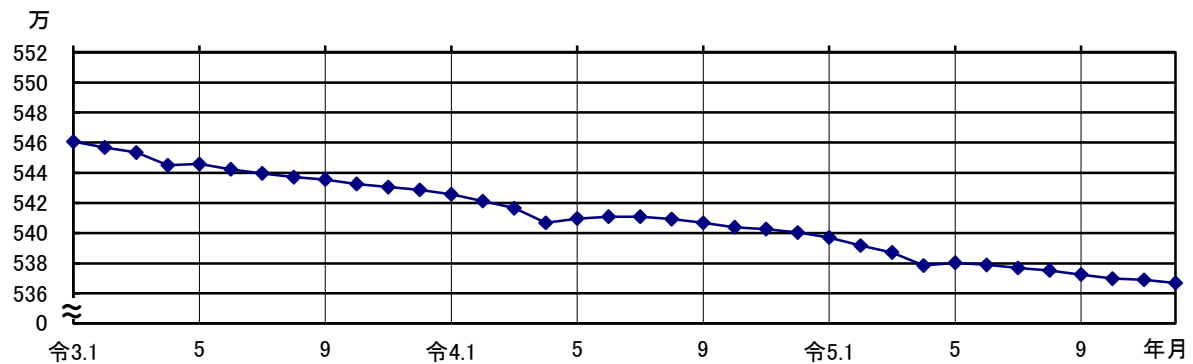


図11 月別人口増減数(令和3年、令和4年、令和5年)

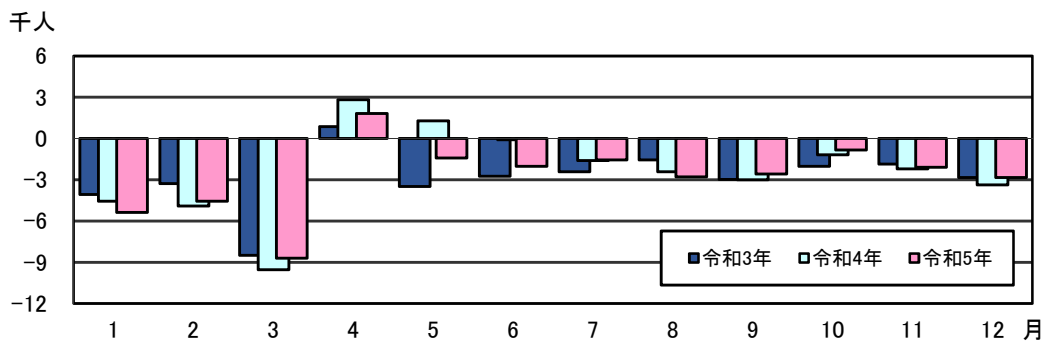
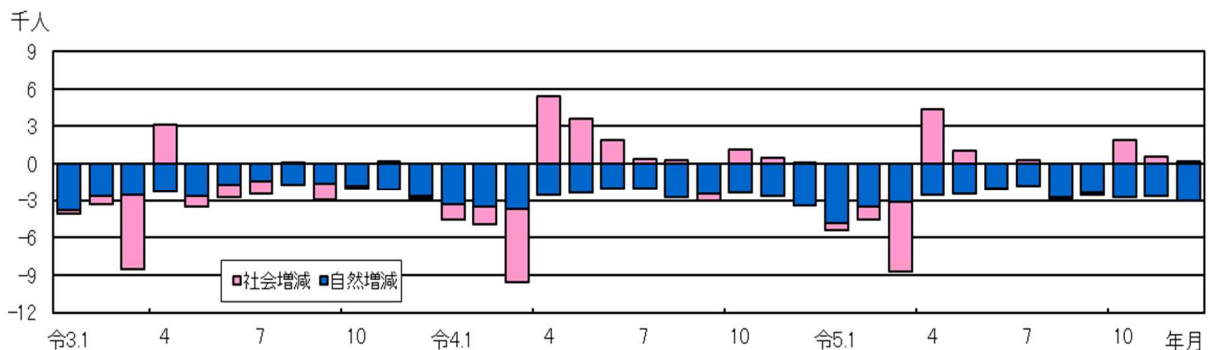


図12 人口増減月別推移



参考 国勢調査結果を踏まえた人口推移

(1) 昭和30年～令和2年の人口推移

昭和30年代に300万人台で推移してきた人口は、昭和36年に400万人を、昭和51年には500万人を超えた。その後も阪神・淡路大震災のあった平成7年を除いて増加が続き、平成21年11月には560万人を超えた^{*}。平成22年国勢調査では減少に転じ、平成27年国勢調査、令和2年国勢調査と減少幅が拡大しており、令和5年1月には540万人を割り込んだ。(表5、図13参照)

※兵庫県推計人口

ピーク時：平成21年11月1日現在 5,600,478人

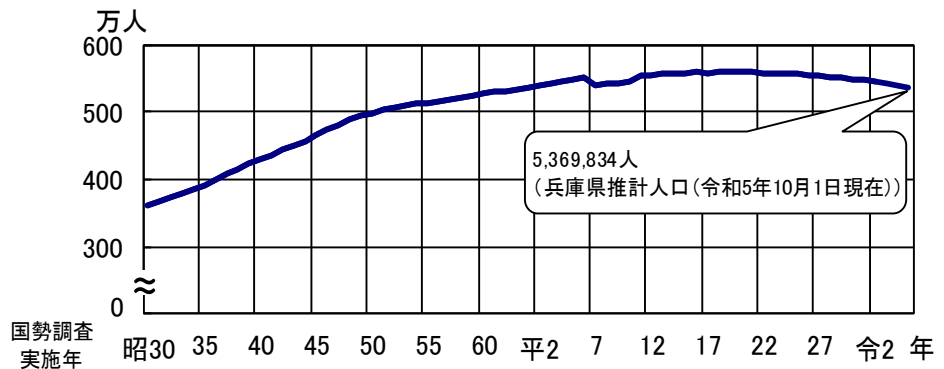
阪神・淡路大震災直後の最小時：平成8年4月1日現在 5,391,055人

表5 国勢調査による兵庫県の人口推移

年次	国勢調査人口 (10月1日現在)
昭30年	3,620,947
35年	3,906,487
40年	4,309,944
45年	4,667,928
50年	4,992,140
55年	5,144,892
60年	5,278,050
平2年	5,405,040
7年	5,401,877
12年	5,550,574
17年	5,590,601
22年	5,588,133
27年	5,534,800
令2年	5,465,002
※5年	5,369,834

※令和5年は兵庫県推計人口

図13 兵庫県の人口推移



注) 国勢調査実施年(表5)以外の年は兵庫県推計人口の数値を使用。

(2) 平成12年～令和2年の都道府県人口

平成12年の兵庫県人口の順位は、北海道に次いで全国で8位だったが、平成22年に北海道を抜き千葉県に次ぐ7位となり、令和2年まで同順位を継続している。(表6参照)

表6 主な都道府県の人口

順位	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口
	全国	126,925,843	全国	127,767,994	全国	128,057,352	全国	127,094,745	全国	126,146,099
1	東京都	12,064,101	東京都	12,576,601	東京都	13,159,417	東京都	13,515,271	東京都	14,047,594
2	大阪府	8,805,081	大阪府	8,817,166	神奈川県	9,048,302	神奈川県	9,126,214	神奈川県	9,237,337
3	神奈川県	8,489,974	神奈川県	8,791,597	大阪府	8,865,245	大阪府	8,839,469	大阪府	8,837,685
4	愛知県	7,043,300	愛知県	7,254,704	愛知県	7,410,719	愛知県	7,483,128	愛知県	7,542,415
5	埼玉県	6,938,006	埼玉県	7,054,243	埼玉県	7,194,556	埼玉県	7,266,534	埼玉県	7,344,765
6	千葉県	5,926,285	千葉県	6,056,462	千葉県	6,216,289	千葉県	6,222,666	千葉県	6,284,480
7	北海道	5,683,062	北海道	5,627,737	兵庫県	5,588,133	兵庫県	5,534,800	兵庫県	5,465,002
8	兵庫県	5,550,574	兵庫県	5,590,601	北海道	5,506,419	北海道	5,381,733	北海道	5,224,614
9	福岡県	5,015,699	福岡県	5,049,908	福岡県	5,071,968	福岡県	5,101,556	福岡県	5,135,214
10	静岡県	3,767,393	静岡県	3,792,377	静岡県	3,765,007	静岡県	3,700,305	静岡県	3,633,202

国勢調査結果(10月1日現在)

第4表 地域別人口の増減数及び増減率(平成31年・令和元年～令和5年)

(1) 増減数

区分	平成31年・令和元年				令和2年				令和3年			令和4年			令和5年			5年間(平成31・令和元年～令和5年)計			
	純増減	補間 補正数	自然 増減	社会 増減	純増減	補間 補正数	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	補間 補正数	自然 増減	社会 増減
	人		人	人	人		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		人	人
県合計	△ 15,811	5,220	△ 20,013	△ 1,018	△ 21,938	3,895	△ 21,720	△ 4,113	△ 34,914	△ 26,725	△ 8,189	△ 28,796	△ 33,052	4,256	△ 32,972	△ 33,864	892	△ 134,431	9,115	△ 135,374	△ 8,172
神戸地域	△ 2,664	1,702	△ 5,645	1,279	△ 5,405	1,278	△ 6,064	△ 619	△ 9,090	△ 8,026	△ 1,064	△ 6,806	△ 9,173	2,367	△ 10,406	△ 9,832	△ 574	△ 34,371	2,980	△ 38,740	1,389
阪神南地域	263	1,264	△ 2,097	1,096	186	941	△ 2,418	1,663	△ 3,668	△ 3,581	△ 87	△ 1,902	△ 4,519	2,617	△ 1,648	△ 4,500	2,852	△ 6,769	2,205	△ 17,115	8,141
阪神北地域	△ 1,584	205	△ 1,810	21	△ 3,024	155	△ 2,200	△ 979	△ 3,882	△ 2,733	△ 1,149	△ 4,304	△ 3,951	△ 353	△ 5,694	△ 3,941	△ 1,753	△ 18,488	360	△ 14,635	△ 4,213
東播磨地域	△ 660	765	△ 1,649	224	△ 940	572	△ 1,758	246	△ 1,814	△ 2,056	242	△ 2,052	△ 2,976	924	△ 597	△ 3,019	2,422	△ 6,063	1,337	△ 11,458	4,058
北播磨地域	△ 1,788	185	△ 1,610	△ 363	△ 2,474	124	△ 1,532	△ 1,066	△ 3,543	△ 1,853	△ 1,690	△ 2,454	△ 2,192	△ 262	△ 2,523	△ 2,269	△ 254	△ 12,782	309	△ 9,456	△ 3,635
中播磨地域	△ 1,278	425	△ 1,803	100	△ 2,199	319	△ 2,188	△ 330	△ 3,872	△ 2,320	△ 1,552	△ 3,071	△ 3,124	53	△ 3,087	△ 3,143	56	△ 13,507	744	△ 12,578	△ 1,673
西播磨地域	△ 2,771	183	△ 1,762	△ 1,192	△ 3,033	143	△ 1,894	△ 1,282	△ 3,368	△ 2,080	△ 1,288	△ 3,041	△ 2,445	△ 596	△ 3,451	△ 2,495	△ 956	△ 15,664	326	△ 10,676	△ 5,314
但馬地域	△ 2,700	154	△ 1,554	△ 1,300	△ 2,583	117	△ 1,590	△ 1,110	△ 2,827	△ 1,734	△ 1,093	△ 2,660	△ 1,928	△ 732	△ 2,782	△ 1,939	△ 843	△ 13,552	271	△ 8,745	△ 5,078
丹波地域	△ 1,065	131	△ 836	△ 360	△ 1,128	93	△ 826	△ 395	△ 1,361	△ 916	△ 445	△ 1,083	△ 1,113	30	△ 1,101	△ 1,032	△ 69	△ 5,738	224	△ 4,723	△ 1,239
淡路地域	△ 1,564	206	△ 1,247	△ 523	△ 1,338	153	△ 1,250	△ 241	△ 1,489	△ 1,426	△ 63	△ 1,423	△ 1,631	208	△ 1,683	△ 1,694	11	△ 7,497	359	△ 7,248	△ 608

(2) 増減率

区分	平成31年・令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			5年間(平成31年・令和元年～令和5年)計		
	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減	純増減	自然 増減	社会 増減
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
県合計	△ 0.29	△ 0.36	△ 0.02	△ 0.40	△ 0.40	△ 0.08	△ 0.64	△ 0.49	△ 0.15	△ 0.53	△ 0.61	0.08	△ 0.61	△ 0.63	0.02	△ 2.44	△ 2.46	△ 0.15
神戸地域	△ 0.17	△ 0.37	0.08	△ 0.35	△ 0.40	△ 0.04	△ 0.60	△ 0.53	△ 0.07	△ 0.45	△ 0.61	0.16	△ 0.69	△ 0.65	△ 0.04	△ 2.24	△ 2.53	0.09
阪神南地域	0.03	△ 0.20	0.11	0.02	△ 0.23	0.16	△ 0.35	△ 0.34	△ 0.01	△ 0.18	△ 0.44	0.25	△ 0.16	△ 0.44	0.28	△ 0.65	△ 1.65	0.78
阪神北地域	△ 0.22	△ 0.25	0.00	△ 0.42	△ 0.31	△ 0.14	△ 0.54	△ 0.38	△ 0.16	△ 0.60	△ 0.56	△ 0.05	△ 0.81	△ 0.56	△ 0.25	△ 2.57	△ 2.03	△ 0.59
東播磨地域	△ 0.09	△ 0.23	0.03	△ 0.13	△ 0.25	0.03	△ 0.25	△ 0.29	0.03	△ 0.29	△ 0.42	0.13	△ 0.08	△ 0.42	0.34	△ 0.85	△ 1.60	0.57
北播磨地域	△ 0.67	△ 0.60	△ 0.14	△ 0.93	△ 0.58	△ 0.40	△ 1.34	△ 0.70	△ 0.64	△ 0.94	△ 0.84	△ 0.10	△ 0.98	△ 0.88	△ 0.10	△ 4.77	△ 3.53	△ 1.36
中播磨地域	△ 0.22	△ 0.31	0.02	△ 0.38	△ 0.38	△ 0.06	△ 0.68	△ 0.41	△ 0.27	△ 0.54	△ 0.55	0.01	△ 0.55	△ 0.56	0.01	△ 2.35	△ 2.19	△ 0.29
西播磨地域	△ 1.10	△ 0.70	△ 0.47	△ 1.22	△ 0.76	△ 0.51	△ 1.37	△ 0.85	△ 0.52	△ 1.25	△ 1.01	△ 0.25	△ 1.44	△ 1.04	△ 0.40	△ 6.22	△ 4.24	△ 2.11
但馬地域	△ 1.66	△ 0.95	△ 0.80	△ 1.61	△ 0.99	△ 0.69	△ 1.79	△ 1.10	△ 0.69	△ 1.72	△ 1.25	△ 0.47	△ 1.83	△ 1.28	△ 0.55	△ 8.32	△ 5.37	△ 3.12
丹波地域	△ 1.03	△ 0.81	△ 0.35	△ 1.11	△ 0.81	△ 0.39	△ 1.35	△ 0.91	△ 0.44	△ 1.09	△ 1.12	0.03	△ 1.12	△ 1.05	△ 0.07	△ 5.56	△ 4.58	△ 1.20
淡路地域	△ 1.20	△ 0.96	△ 0.40	△ 1.04	△ 0.97	△ 0.19	△ 1.17	△ 1.12	△ 0.05	△ 1.13	△ 1.30	0.17	△ 1.35	△ 1.36	0.01	△ 5.76	△ 5.57	△ 0.47

(注) 増減率は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示している。(各年の増減率=増減数/当該年の1月1日推計人口×100)

《 県民情報センター 統計資料コーナーのご案内 》

統計資料コーナーでは、国、県、市町、団体及び研究機関等が発行した各種統計資料等を豊富に所蔵し、生きた統計、活用される統計として広く一般に公開、提供しております。

どなたでも自由に閲覧できますので、お気軽にご利用ください。

- ◆ **利用時間** 平日 午前9時から午後5時30分まで
- ◆ **休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ◆ **場 所** 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
兵庫県民会館 4階
電話（078）362-4190

兵庫県の人口の動き (令和5年1月～12月) 令和6年3月発行

編集・発行 兵庫県企画部統計課

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5丁目10-1
TEL (078) 362-4127 (人口統計班)

統計調査の情報はインターネットで提供しています。
「兵庫県トップページ」→「分類から探す」→
「県政情報・統計（統計）」をクリック